

水道凍結防止のお願い

毎年、冬期間(12月から2月にかけて)の水道凍結事故が多発します。水道が凍結すると、水が出なくなるだけでなく、復旧・修理作業に多くの費用がかかります。本格的な冷え込みが来る前に水抜き方法を確認し、水道凍結防止しましょう。

《こんな時にご注意下さい！》 ～水抜きの時期～

- ・外気温がマイナス4℃以下になった時。※天気予報の気温には十分注意してください。
- ・長時間(長期間)水道を使用しない時。
- ・一日中外気温がマイナスの真冬が続いた時。
- ・テレビで【水道凍結注意】の警告が出たとき。

《水抜きの方法》

1. 水抜き栓の位置の確認する。

※主に水回りの近くにありますが、また、水抜き栓は複数ある場合もあります。

※水抜き栓には、回すタイプのもの、レバー式のもの、電動モーターなど様々なタイプがあります。(図1参照)

2. キッチンとお風呂の蛇口を開ける。

3. 水抜き栓を操作する。→完全にハンドルやレバーが止まるまで操作して下さい。

※水抜き栓付近の給水管の床から10～50cmの間に【水抜き】と書かれたボタンが付いているものは水抜き栓を操作した後、ボタンを強く押し込んで下さい。

※水抜き栓の操作が不十分だと水が抜けず、水道管凍結や破裂の原因になります。

4. 全ての蛇口をいっばいに開ける。

《それぞれの水抜き方法》

◎瞬間湯沸器◎

①ガス元栓を閉める。

②湯沸器の蛇口を全開にする。

③湯沸器底の水抜き弁を外す。(図2-①参照)

*器種によって操作方法が異なる場合があります。それぞれの湯沸器には必ず水抜き操作方法がシール貼りになっていますので、よく読んで操作して下さい。

◎トイレ◎

タンクの水を全て出しきる。

[レバーにロックボタン又はロックネジが付いている場合]

レバーを大の方へ回しボタンを押すか、ネジを回すとレバーが固定されます。

[レバーにロックシステムが付いていない場合]

レバーを大の方へ回し、水がなくなるまで押さえて下さい。

※外泊等で留守にする時や、冷え込みが特に厳しくなる時は、便器に**不凍液**を入れてください。

*不凍液は、カーショップ、ホームセンター等で販売しています。

◎浴室◎

①シャワーヘッドを床に置き、蛇口を全開にする。

②混合栓の下の方にある水抜き用ネジを外す。(図2-②参照)

③洗面台やシャンプードレッサーがある場合は、蛇口を全開にする。

※外泊等で留守にする時や、冷え込みが特に厳しくなる時は、排水口に**不凍液**を入れてください。

◎台所◎

①お湯と水の蛇口を全開にする。

※台所下の収納庫を開けると中に蛇口が付いている場合や台所の横から来ている蛇口もありますので、全ての蛇口を全開にして下さい。凍結しやすい部分ですので、必ず確認して下さい。

②混合栓の下の方にある水抜き用ネジを外す。(図2-②参照)

※台所下の収納庫に給水管がある場合、給水管の途中に【水抜き用ネジ】が付いているものはネジを外して下さい。

※外泊等で留守にする時や、冷え込みが特に厳しくなる時は、排水口に**不凍液**を入れてください。

◎その他注意点◎

※洗濯機の給水ホースが繋いだままになっている場合、蛇口を開けても水が落ちていきません。必ず洗濯機の給水ホースをはずして水抜き作業をして下さい。

※湯沸器の上や壁の上で、天井に向いている蛇口が付いている場合は作業の最後に全開にして下さい。

5. 水が落ちているか確認する。

※蛇口に指先か手のひらを軽くあて、吸い付けば正常です。

6. 水抜きが完了したら、蛇口や水抜き弁を全て閉める。

※蛇口を開けっぱなしにしておくと、次に使う時に水が流れてしまいます。事故防止のため閉めて下さい。

＜水抜き作業のポイント＞

水抜き栓を閉めた後、蛇口、ネジ、栓を全て開ける作業です。難しく考えずに、ひとつひとつ確実に行って下さい。

＜＜水を出す(復旧)の方法＞＞

1. 蛇口、ネジ、水抜き栓が全て閉まっているか再度確認する。
2. トイレのレバーのロックを解除する。

※台所の下、天井を向いた蛇口、湯沸器廻りは閉め忘れやすいので、十分注意して下さい。

3. 水抜き栓を開ける。(それぞれの水抜き栓のタイプによって、【開ける】【出る】【給水】等表示は異なります。)
※復旧時、水道管の中に空気が入っているため水の出が悪くなりますが、しばらく水を出すと正常に戻ります。
4. 蛇口をゆっくり開ける。

＜＜凍結させてしまった場合＞＞

必ず水抜き栓を閉めて下さい。開けたままにしていると漏水事故を起こす可能性があります。





凍結の場合、解氷作業費用はご入居様負担となります。

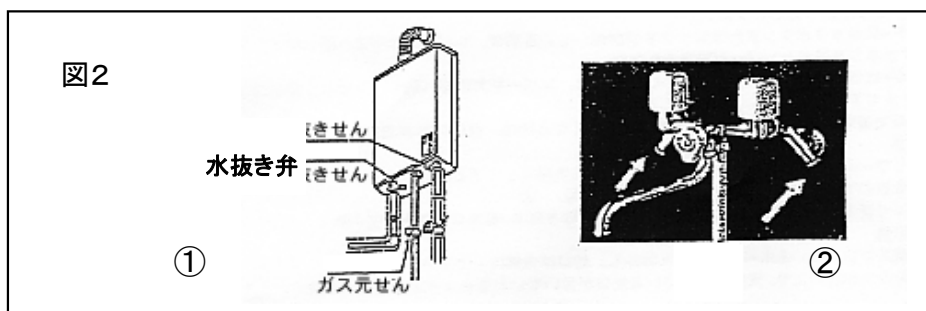
解氷作業につきましては、当社又は指定給水装置事業者へお問い合わせ下さい。

※2階に住んでいる方は、真下の部屋に入らなければ復旧出来ない場合があります。

凍結による事故は高額費用がかかり、配管の破損修理などで何日か水が使えなくなる場合があります。十分注意してください。

図1【水抜き栓の種類】

<p>ハンドル式水抜き栓</p>  <p>踊り場の扉のにあります。 ハンドルを回すと水が止まります。 注)複数ある場合は、号室が</p>	<p>レバー式水抜き栓</p>  <p>レバーを「止」の方へ倒すと水が止まります。</p>	<p>ドレンバルブ</p>  <p>ハンドルを「止」の方へ回すと水が止まります。</p>	<p>電動式水抜き栓</p>  <p>電源を入れて「給水/水抜き」ボタンを押して、水抜きランプを点灯させると水が</p>
--	---	---	--



指定給水装置業者の連絡先は下記の配水管理事務所へお問い合わせ下さい。

中部配水管理事務所
(中央区・南区にお住まいの方)

TEL:011-572-7300

北部配水管理事務所
(北区・東区にお住まいの方)

TEL:011-762-7300

東部配水管理事務所
(白石区・厚別区にお住まいの方)

南部配水管理事務所
(豊平区・清田区にお住まいの方)

TEL:011-812-7300

西部配水管理事務所
(西区・手稲区にお住まいの方)

TEL:011-663-7300

夜間・休日の緊急時

TEL:011-211-7770

イーカンリネット株式会社 TEL:011-825-2888